



「授業で使おう！ 学校図書館」

**講師：東京学芸大学附属小金井小学校
司書 中山美由紀**

学校図書館は、読書を基盤として、子どもたちの学びをより広げ、より深める機能を持っています。授業者と図書館員との連携の在り方や可能性を考えてみませんか。

場所：塩尻市市民交流センター(えんぱーく)
4階 401会議室

定員：50名(先着順)

申込み開始日：2016年7月4日(月)

参加費：無料

持ち物：授業で役立った(役立つかもしれない)本を
一冊お持ちください。

※当日は、著書の販売もあります。

2016年 **8**月**5**日(金)

13:30~16:30

(開場 13:00)

お問い合わせ・お申し込み

お電話または図書館本館総合カウンターでお申し込みください。
塩尻市立図書館 本館
電話:0263-53-3365(毎週水曜休館)

中山 美由紀(なかやま みゆき) PROFILE



東京都生まれ。成城学園高等学校専任司書教諭、千葉市学校図書館指導員を経て2004年より東京学芸大学附属小金井小学校非常勤司書。学校図書館専門職員の役割は教員とともに図書館の機能をもって子どもを育てることであると、蔵書構築、教育課程、協働を活動の核として、実践・研究に取り組む。2009年より、東京学芸大学の文部科学省委託事業として「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」を開設、運営。共著に『先生と司書が選んだ調べるための本』(少年写真新聞社2008年)、『学習指導と学校図書館』(全国学校図書館協議会2010年)、『困った時には図書館へ2 学校図書館の挑戦と可能性』(悠光堂2015年)などがある。司書教諭講習講師、青山学院大学、専修大学ほか複数の私立大学で非常勤講師として司書教諭科目を担当。東京学芸大学学校図書館運営専門委員会委員、日本図書館協会代議員、日本子どもの本研究会会員、図書館情報学会会員。

主催	塩尻市・塩尻市教育委員会
企画	長田 洋一(編集者・元河出書房新社『文藝』編集長)
顧問	永井 伸和・山野 浩一・常世田 良
後援	塩尻書店組合・長野県出版協会・長野県図書館協会・信州大学・松本大学・朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タイムス・中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局・松本平タウン情報・読売新聞長野支局・エルシーブイ(株)・テレビ松本ケーブルビジョン・abn長野朝日放送・NBS長野放送・NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州・日本ハイコム(株)